

◆ コンクリートの中性化(炭酸化) ◆

・ ●コンクリートの劣化調査● ・

コンクリートの中性化（炭酸化）とは、本来アルカリ性（pH12~13）であるコンクリート構成成分の一つである水酸化カルシウムがコンクリート表面から大気中の二酸化炭素と反応して炭酸カルシウムに変化することによりpH10程度までpHが低下する、コンクリートの劣化現象の一つです。

この現象が起これると、内部の鉄筋が酸素と水の影響により錆び、鉄筋の健全な部分が減少することによる強度低下 や 錆びた鉄筋の膨張によるコンクリートのひび割れが発生します。



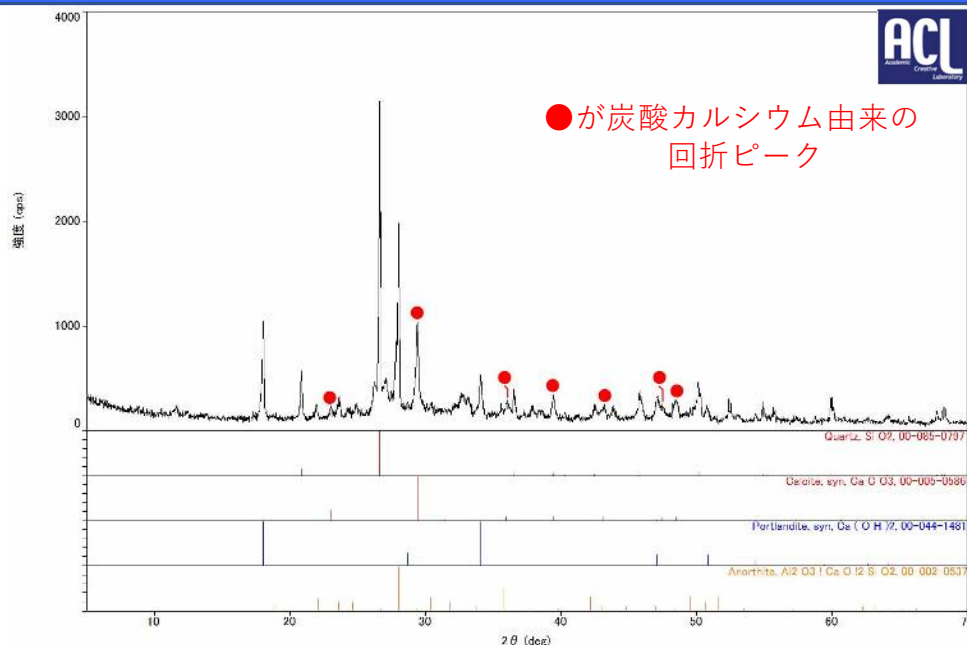
弊社は、コンクリートの劣化調査として、構成成分分析や熱分析などの化学分析による劣化の見える化を行っています。

調査の詳細は裏面へ👉

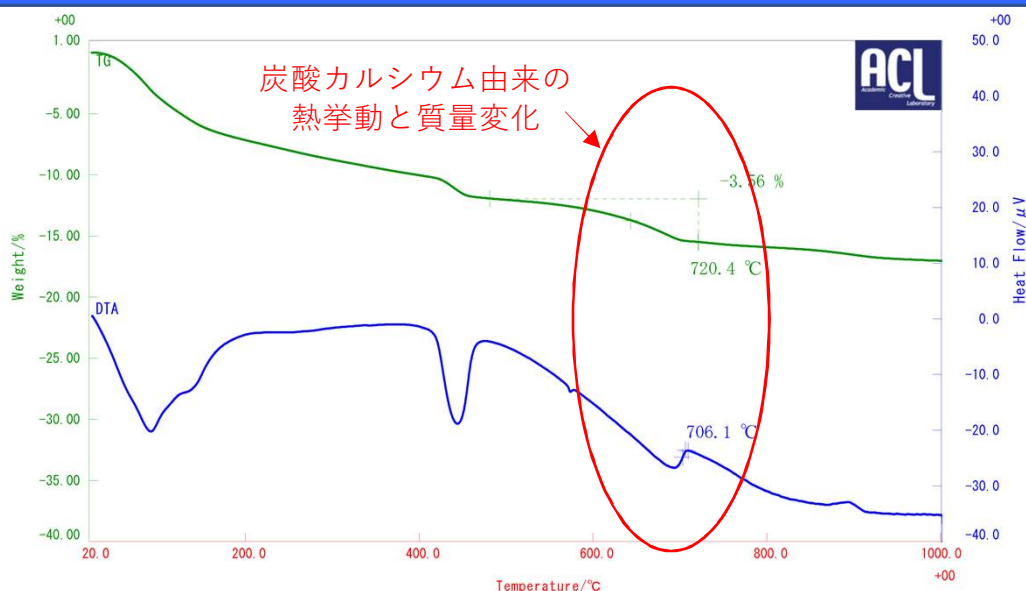
◆ コンクリートの中性化(炭酸化) ◆

・ ● コンクリートの劣化調査 ● ・

コンクリートの構成成分分析例 (XRD分析: 炭酸カルシウムに着目した解析)



コンクリートの熱分析 (TG-DTA分析による熱挙動と質量変化による炭酸カルシウム確認)



炭酸カルシウムの存在に着目し、コンクリートの劣化を判断する指標として調査します。

コンクリート中性化の化学的確認試験をご希望のお客様は、弊社までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社 分析センター URL <https://www.analysis.co.jp/>

材料評価事業部 〒131-0032 東京都墨田区東向島1丁目12番2号

TEL 03-3616-1612 FAX 03-3616-1615

会社HP

分析無料ご相談

